

コメディリリック第1回「へ夕に経た」

「思い出の唄」

登場人物

高木 ペイリー・チャイルド

白石 シロスコフ

吉野 テオ・ポー

齋藤 野彦

〔L・明転〕

※一同、登場

高木 「じゃあ」

白石 「…おう」

吉野 「向こう着いたら連絡忘れんなよ！笑」

高木 「うん」

泣き出す齋藤

高木 「泣くなよ笑大げさだな。みんなすぐ東

京に来るんでしょ？」

白石 「そうだな。お前と吉野は進学。俺は就

職。齋藤はまだ何も決まってるない」と

ひと際涙が大きくなる齋藤

高木 「泣いてもしょうがないだろ。一人だけ

何も決まらなかつたんだから」

吉野 「バイトだったらなんでもあんじゃない。

牛井屋とか満喫とか」

齋藤 「満喫はちよつと…」

吉野 「あ、そうだね。高木、修学旅行の時み

たいに新宿で迷子になったりするんなよ  
笑」

高木 「ならないから笑」

吉野 「渋谷のツタヤを六本木ヒルズと間違え

るんじゃないぞ」

高木 「もう間違えないよ」

白石 「よし、唄を歌おう」

高木 「え」

白石 「思い出の唄。わかるよな？」

齋藤 「わかるよ」

高木 「人もいるし、いいよ」

吉野 「いいから」

白石 「高木の！この町からの！旅立ちを祝し

て！この唄を！俺たちから！贈りま

す！」

高木 「白石…」

白石 「せーの！」

唄（三人の箇所は齋藤も入る）

二人 「マンボー、マンボー」

三人 「みんなのマンボー」

二人 「漫画喫茶の激安マンボー、居心地が」

三人 「抜群！」

二人 「楽しさも」  
三人 「抜群！」

間

高木 「お前ら……」  
齋藤 「うぐ……この唄は……東京に……行った時に……マンボーで……カツアゲされて……悔しい……思いをした……そんな……大切な……思い出の唄です……」

吉野 「忘れんなよ？」  
高木 「絶対忘れねえよ」  
齋藤 「頑張れ高木」  
吉野 「頑張れ高木」  
白石 「……もう一曲。もう一曲歌おう。わかるよな？」

吉野 「あれだよね？わかるよ」  
高木 「人も集まってきてるから」  
白石 「せーの！」

唄(三人の箇所は齋藤も入る)

二人 「バーニラ！バーニラ！バーニラ！」  
齋藤 「ゴーゴー」  
二人 「バーニラ！バーニラ！」

三人 「高収入！」  
高木 「お前ら……」

齋藤 「うぐ……この唄は……バナラの車に……うるせーとか言ってたら……キャッチのお兄さんたちに囲まれて……カツアゲされて……ボコボコにされた……そんな大切な……思い出の唄です」

高木 「東京こええなああ！東京こええええよおおお」  
白石 「東京こええなああ！」  
吉野 「東京こええなああ！」

全員で泣く

齋藤 「最後にこの唄も……」

〔M・くるり／東京―C―〕

齋藤 「東京の街に」  
高木 「いや、そういうのはいいわ」

〔L・暗転〕

〔M・C O〕